

「元気発進！子どもプラン(第3次計画)」(北九州市次世代育成行動計画) 15の施策について

目標	施策	柱	成果指標					評価	
			指標	目標	基準値	R5年度実績	基準値比		
1 安心して子どもを生み育てられるま ちをつくる	(1) 母子保健の充実	① 安心して妊娠・出産できる仕組みづくり	妊娠11週までの妊娠届出者の割合	増加	91.7%	93.9%	2.2 pnt	<p>[指標の説明]</p> <p>・妊娠11週までの妊娠届出者の割合、妊婦健診受診率、生後4か月までの乳児家庭全戸訪問の割合、子どもの健診受診率とも、90%超の高水準を維持している。</p> <p>[評価]</p> <p>・安心して子どもを生み育てられるよう、若年の妊婦や産後うつなど養育支援が必要な家庭に早期に関わる支援や妊産婦と乳幼児の健康管理など、妊娠・出産・子育て期の切れ目ない支援に取り組んだ。</p>	
			妊婦健診受診率	増加	96.8%	99.0%	2.2 pnt		
			生後4か月までの乳児家庭全戸訪問の割合	増加	95.1%	97.6%	2.5 pnt		
		② 乳幼児の健やかな発育・発達への支援	子どもの健診受診率						
			4か月	増加	97.6%	98.7%	1.1 pnt		
			1歳6か月	増加	95.9%	98.3%	2.4 pnt		
	③ 養育支援の必要な家庭に対する支援の充実	3歳児	増加	94.5%	98.7%	4.2 pnt			
		乳幼児健康診査未受診者フォローアップ率	維持	100.0%	100.0%	達成			
		(2) 母子医療体制の維持・強化	① 周産期医療・小児救急医療体制等の維持・確保	周産期医療、小児救急医療体制	維持	維持	維持		達成
	予防接種率(麻しん・風しん予防接種の接種率)			維持	95.6%	93.8%	▲1.8 pnt		
② 子どもの感染症予防の推進									
2 子どもや若者が健やかに成長するま ちをつくる	(3) 乳児・幼児期の教育や保育の充実	① 教育・保育の質の向上と量の確保	幼稚園等に対する満足度(施設・環境、教育内容)					<p>[指標の説明]</p> <p>・保育所待機児童(10月時点)は、引き続き0人を達成。</p> <p>・市民アンケートによる幼稚園・保育所に対する満足度は、ほとんどの項目で、前年度より増加している。</p> <p>[評価]</p> <p>・年度当初と10月時点の待機児童0人を継続して達成することができている。</p> <p>・保護者の就労形態の多様化に対応するため、延長保育や一時保育、休日保育など多様な保育を提供した。</p> <p>・平成30年度(基準値)に99%に達した保幼小連携事業を実施する保育所、幼稚園、小学校の割合は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴う行動制限を主な理由として令和3年度に85.5%まで落ち込んだものの、行動制限の緩和や研修の再開に伴い徐々に回復しており、令和5年度は91.3%となっている。</p>	
			施設・環境	増加	87.4%	89.9%	2.5 pnt		
			教育内容	増加	90.4%	91.3%	0.9 pnt		
		② 幼稚園、保育所等における多様なニーズに対応した保育の充実	保育所等に対する満足度(施設・環境、保育内容)						
			施設・環境	増加	86.7%	90.7%	4.0 pnt		
			内容	増加	90.6%	93.8%	3.2 pnt		
		③ 幼稚園、保育所等と小学校の連携の充実	幼稚園における学校関係者評価実施施設数	維持(全施設)	全施設(94施設)	全施設(93施設)	維持		
			保育所及び地域型保育施設における児童福祉施設等第三者評価実施施設数	増加	5施設	5施設	達成		
			保育所待機児童数(4月・10月)						
		④ 幼稚園、保育所等における子育て支援の充実	4月	0人	0人	0人	達成		
			10月	0人	0人	0人	達成		
			保幼小連携事業を実施する保育所、幼稚園、小学校の割合	維持	99.0%	91.3%	▲7.7 pnt		

「元気発進！子どもプラン(第3次計画)」(北九州市次世代育成行動計画) 15の施策について

目標	施策	柱	成果指標					評価
			指標	目標	基準値	R5年度実績	基準値比	
(4) 放課後児童の健全育成	① 放課後児童クラブの環境整備	放課後児童クラブの利用を希望する児童の受け入れ	100%	100.0%	100.0%	達成	[指標の説明] ・放課後児童クラブの利用希望に対する受け入れは100%を達成。 ・市民アンケートによるクラブの満足度は、開所時間が若干下がったものの、施設・環境は上昇している。 [評価] ・放課後児童クラブの利用を希望する児童を全学年で受け入れた。	
		放課後児童クラブに対する満足度(施設・環境、開所日・開所時間)						
	② 放課後児童クラブの魅力の維持・向上	施設・環境	増加	61.8%	69.0%	7.2 pnt		
		開所日・開所時間	増加	74.3%	70.9%	▲ 3.4 pnt		
		運営内容に関する自己評価実施クラブ率	増加	—	100.0%	達成		
(5) 地域における子どもの居場所づくり	① 子どもの遊び環境の充実	子どもの遊び場や公園に対する満足度	増加	53.5%	53.3%	▲ 0.2 pnt	[指標の説明] ・子育てふれあい交流プラザ、子どもの館の満足度は増加。 ・子ども食堂の開設数は増加。 [評価] ・子育て支援施設等への来場者数は昨年度に比べ増加し、回復傾向にある。安全に配慮した公園整備や、子どもの館など屋内の遊び場の提供などにより、満足度を維持していると考えている。	
		子育て支援施設(子育てふれあい交流プラザ、児童館)の満足度						
		子育てふれあい交流プラザ	維持	99.8%	100.0%	0.2 pnt		
	② 地域団体、NPOとの協働等による子どもが主役の居場所づくり	子どもの館	維持	98.2%	100.0%	1.8 pnt		
		児童館	維持	92.5%	93.9%	1.4 pnt		
		市内における子ども食堂の開設数	増加	30か所	63か所	33か所増		
(6) こころの教育、体験・学習機会の充実	① 学校等におけるこころの教育の推進	人の役に立つ人間になりたいと思うと回答した児童生徒の割合					[指標の説明] ・「人の役に立つ人間になりたい」「自分にはよいところがある」と回答した児童数は、小学6年生、中学3年生とも増加。 [評価] ・新型コロナウイルス感染拡大の影響で縮小となっていた事業が、コロナ前と近い規模で実施できるようになっている。	
		小学6年生	増加	93.4%	95.7%	2.3 pnt		
	② 体験活動等を通じた学びの機会の提供・充実	中学3年生	増加	93.5%	94.9%	1.4 pnt		
		自分にはよいところがあると回答した児童生徒の割合						
	③ 児童文化科学館の移転新設(新科学館の整備)	小学6年生	増加	78.9%	80.3%	1.4 pnt		
		中学3年生	増加	73.7%	78.1%	4.4 pnt		
(7) 青少年の非行防止や自立・立ち直りの支援	① 非行を防止するための取り組みの推進	非行者率(暦年)	減少	3.6人	4.6人	1人	[指標の説明] ・非行者率は昨年度に比べ微増しているが再犯者は減少。 ・協力雇用主登録者数は増加。 [評価] ・非行歴のある青少年の就職促進のため、福岡保護観察所と協働し、協力雇用主の拡充を図っている。 ・いじめ・不登校等の問題については、確実な実態把握に努め、スクールカウンセラー・スクールソーシャルワーカーの配置や関係機関との連携により、きめ細かな対応を行っている。 ・なお、いじめの解消率については、過去の実績を含め、把握している案件については高い水準で取り組まれている。	
		少年の再犯者数(暦年)	減少	77人	73人	▲ 4人		
		北九州市協力雇用主登録者数	増加	262社	289社	27社		
	② 非行からの立ち直りを支える取り組みの推進	いじめの解消率						
		小学生	100%	99.4%(H30)	94.6%	▲ 4.8 pnt		
		中学生	100%	98.8%(H30)	95.1%	▲ 3.7 pnt		
	③ いじめや長期欠席(不登校)へのきめ細やかな対応	長期欠席児童生徒数(1,000人あたり)						
		小学生	全国平均以下	全国平均14.5人(8円)	35.1人	20.6人		
		中学生	全国平均以下	全国平均50.1人(8円)	97.8人	47.7人		
	④ 若者の自立を支援する環境づくり	「YELL」来所相談者の就業等実績	増加	44人	34人	10人減		
ひきこもりの人の自立に向けた支援段階が進んだ割合		増加	51.7%	48.1%	▲ 3.6 pnt			

「元気発進！子どもプラン(第3次計画)」(北九州市次世代育成行動計画) 15の施策について

目標	施策	柱	成果指標					評価	
			指標	目標	基準値	R5年度実績	基準値比		
3 配慮を要する子どもや家庭をしっかりと支えるまちをつくる	(8) 社会的養護が必要な子どもへの支援	① 里親やファミリーホーム、特別養子縁組の普及促進	要保護児童数に対する里親・ファミリーホーム委託率	29.4%	24.0%	24.8%	0.8 pnt	[指標の説明] ・里親やファミリーホームなどの委託率は昨年度から増加。 ・児童養護施設等退所者の生活・就業状況の改善件数は昨年度に引き続き増加。 [評価] ・児童養護施設等で、社会的養護が必要な子どもが、家庭的な環境と安定した人間関係のもとで、きめ細やかなケアを受けられる体制を維持した。	
		② 児童養護施設における生活環境整備の促進や家庭支援機能の強化	特別養子縁組成立件数	H27～R6 10か年累計 28件	2件	1件	▲1件		
		③ 一時保護中や里親委託・施設入所中の子どもの権利擁護の取り組み	地域小規模児童養護施設の実施か所数	増加	6か所	13か所	7か所増		
				児童養護施設等の退所者に対する生活相談により生活・就業状況が改善した件数	増加	30件	33件	3件増	
	(9) 児童虐待への対応(北九州市子どもを虐待から守る条例の推進)	① 児童虐待の未然防止		乳幼児健康診査 未受診者フォローアップ率(再掲)	維持	100%	100%	達成	[指標の説明] ・「北九州市子どもを虐待から守る条例」の認知度は増加。 ・児童虐待による死亡事案発生はゼロを維持。 [評価] ・出前講演や講座等の啓発等を通じて、市民への条例の周知を図り、児童虐待防止への理解を深めている。 ・児童虐待の発生予防、早期発見、早期対応及び適切な支援を行うために、関係機関と連携し、関係職員等に対する研修会の実施や市民啓発等に努め、対応強化を図った。
				「北九州市子どもを虐待から守る条例」の内容についての認知度	増加	72.5%	75.2%	2.7 pnt	
		② 児童虐待の早期発見・早期対応・相談・支援の強化		ペアレントトレーニング参加家族数	5か年累計 170家族	30家族	23家族	▲7家族	
				児童虐待による死亡事案の発生件数	0件	0件	0件	達成	
	(10) 障害のある子どもや発達の気になる子どもへの支援	① 心身の発達が気になる子どもの早期発見と相談・支援体制の強化		子どもの成長や発達、障害に関し、「必要と感じたら専門機関・施設等に相談する人」の割合	増加	69.4%	66.0%	▲3.4 pnt	[指標の説明] ・市民アンケートによる、友人や家族を含め相談できる相手が全くいない人の割合は昨年と変わらず。 ・障害のある子どもの受け入れに取り組む保育所は全施設を維持、幼稚園は増加している。 [評価] ・障害のある子どもの早期発見と相談・支援、全保育所での障害児の受入体制の整備、進路アドバイザーや就労支援コーディネーターによる高等部卒業生の就労支援など、障害のある子どもの成長過程に応じた支援を推進することができた。 ・特別な教育的支援を要する幼児の就園先が確保できるように、引き続き園に対して助成するとともに、サポート園施設数を大幅に増加することができた。
				子どもの成長や発達、障害に関し、「相談する相手がいない人」の割合	減少	3.5%	3.5%	0.0 pnt	
② 障害のある子どもの受け入れ体制の強化			障害のある子どもを受け入れる保育所の施設数	維持(全施設)	全施設(166施設)	全施設(166施設)	達成		
			障害のある子どもの受け入れに取り組む幼稚園(サポート園)の施設数	増加	12園	30園	18園増		

「元気発進！子どもプラン(第3次計画)」(北九州市次世代育成行動計画) 15の施策について

目標	施策	柱	成果指標					評価	
			指標	目標	基準値	R5年度実績	基準値比		
	(11) ひとり親家庭等への支援	① ひとり親家庭の生活の安定と向上	ひとり親家庭の就業を支援する施策の利用数(母子・父子福祉センターの延べ利用者数)	増加	10,446人	10,201人	▲245人	[指標の説明] ・ひとり親家庭の支援・相談窓口である母子・父子福祉センター、子ども・家庭相談コーナーを知らない人は減少。 ・児童養護施設の高卒卒業後の進学率は増加。 [評価] ・ひとり親家庭の支援・相談窓口である母子・父子福祉センターの延べ利用者数は、1万人前後の水準で推移しており、指標の基準値には届かなかったものの、令和5年度も数多くの家庭に対し、支援を行うことができた。 ・子ども・家庭相談コーナーの認知度は高く、各種支援制度のつなぎ役として重要な役割を担っている。	
			ひとり親家庭の支援・相談窓口を知らない人の割合(母子・父子福祉センター、子ども・家庭相談コーナー)						
			母子・父子福祉センター	減少	51.8%	50.3%	▲1.5 pnt		
			子ども・家庭相談コーナー	減少	8.3%	12.9%	4.6 pnt		
			ひとり親家庭の就業率(母子家庭、父子家庭)						
			母子家庭	増加	87.9%(H28)	87.6%(R3)	▲0.3 pnt		
		父子家庭	増加	94.2%(H28)	93.8%(R3)	▲0.4 pnt			
		② 子どもの貧困対策	生活保護世帯・児童養護施設及びひとり親家庭の子どもの進学率						
			生活保護世帯 中学卒業後 高校卒業後	増加	88.4% 35.2%	87.5% 37.6%	▲0.9 pnt 2.4 pnt		
			児童養護施設 中学卒業後 高校卒業後	増加	100.0% 20.0%	90.0% 57.1%	▲10.0 pnt 37.1 pnt		
			ひとり親家庭 中学卒業後 高校卒業後	増加	96.5% 67.4%(H28)	97.3% 70.1%(R3)	0.8 2.7 pnt (R3)		
		4 子育ての喜び・楽しさを得られるまちをつくる	(12) 子育てを応援する体制づくり	① 地域における子育て支援の環境づくり	子育ての悩みや不安を感じる人の割合				
就学前	減少				34.7%	44.4%	9.7 pnt		
小学生	減少				41.6%	50.8%	9.2 pnt		
② 子育てを支える人材の育成・活用	就学前			減少	38.8%	44.7%	5.9 pnt		
	子育てが楽しいと感じる人の割合								
	就学前			増加	91.1%	92.0%	0.9 pnt		
③ 子育て家庭への経済的支援	小学生			増加	87.5%	89.2%	1.7 pnt		
	中学生・高校生			増加	86.5%	85.6%	▲0.9 pnt		
	子育てを支えてくれる人がいる人の割合								
④ 市民が利用しやすい相談体制	就学前			増加	97.1%	97.5%	0.4 pnt		
	小学生			増加	97.3%	96.7%	▲0.6 pnt		
	中学生・高校生			増加	94.6%	94.0%	▲0.6 pnt		
⑤ 子育てに関する情報が届く仕組みづくり・PRの強化	子育てに関して相談できる人(場所)がいる(ある)人の割合								
	就学前			増加	96.1%	97.9%	1.8 pnt		
	小学生	増加	95.6%	95.7%	0.1 pnt				
⑥ 外国人市民の子ども・保護者への支援	中学生・高校生	増加	89.5%	92.9%	3.4 pnt				
	子育てサポーター登録者数	増加	1,561人	1,549人	12人減				
	子育て情報を提供するホームページの認知度	増加	81.8%	88.4%	6.6 pnt				

「元気発進！子どもプラン(第3次計画)」(北九州市次世代育成行動計画) 15の施策について

目標	施策	柱	成果指標					評価	
			指標	目標	基準値	R5年度実績	基準値比		
子どもが安全安心に暮らせるまちをつくる	(13) 家庭の育児力・教育力の向上	① 子どもの健全育成の基礎となる家庭の育児力・教育力の向上	朝食を「ほぼ毎日」食べる子どもの割合						<p>[指標の説明] 市民アンケートによると、 ・朝食を毎日食べている就学前児童の割合は、全体的に減少。 ・就寝時間が午後10時以降の就学前児童の割合は、減少。 ・子どもがテレビやインターネット上の動画サイトを見る時間は全体的に減少。</p> <p>[評価] ・市民アンケートによると、「子どもの話をよく聞いていると思う保護者の割合」は、小学生19.0%、中学・高校生23.6%であるが、「だいたい聞いていると思う保護者の割合」を含めると、小学生87.4%、中学・高校生88.4%と高い水準であり、親子間のコミュニケーションが図られていることがうかがえる。</p>
			就学前児童	増加	93.7%	93.6%	▲ 0.1 pnt		
			小学6年生	増加	92.3%	89.6%	▲ 2.7 pnt		
			中学3年生	増加	90.3%	88.1%	▲ 2.2 pnt		
			就寝時間が午後10時以降の就学前児童の割合	減少	26.2%	24.7%	▲ 1.5 pnt		
		② 基本的生活習慣の定着や食育の推進	子どもの話をよく聞いていると思う保護者の割合						
			小学生	増加	17.8%	19.0%	1.2 pnt		
			中学・高校生	増加	25.5%	23.6%	▲ 1.9 pnt		
			親子の会話の頻度(「毎日会話をした」割合)						
			小学生	増加	92.4%	96.5%	4.1 pnt		
	中学・高校生		増加	90.1%	91.5%	1.4 pnt			
	1歳6か月児/3歳児に仕上げみがきをする保護者の割合								
	1歳6か月児		維持	95.5%	95.5%	0.0 pnt			
	3歳児		維持	96.7%	97.7%	1.0 pnt			
	子どもに絵本の読み聞かせをする頻度(「ほぼ毎日」「週5,6日」「週3,4日」「週1,2日」)								
	就学前児童	増加	71.0%	70.3%	▲ 0.7 pnt				
	小学生	増加	22.0%	16.6%	▲ 5.4 pnt				
	子どもがテレビやインターネット上の動画サイト等を見る時間								
	就学前児童 3時間以上	減少	12.1%	10.6%	▲ 1.5 pnt				
	小学生 3時間以上	減少	32.7%	26.1%	▲ 6.6 pnt				
中学・高校生 3時間以上	減少	55.6%	51.4%	▲ 4.2 pnt					
(14) 子育てと仕事との両立に向けた環境づくり	① 事業者等との共同による仕事と生活の調和の推進	仕事と生活の調和がとれていると思う人の割合	増加	57.9%	62.8%	4.9 pnt			
		父親が家事をしている割合							
	② 男性の家事・育児への参画促進	就学前児童	増加	71.8%	84.3%	12.5 pnt			
		小学生	増加	67.6%	72.9%	5.3 pnt			
	③ 結婚・妊娠・出産を希望する方への支援	主に子育てをしているのが「父母ともに」と回答した人の割合							
		就学前児童	増加	49.0%	51.4%	2.4 pnt			
小学生	増加	44.3%	47.6%	3.3 pnt					
特定不妊治療の助成制度を知っている人の割合	増加	41.8%	-	-					
(15) 子どもの安全を守る環境整備	① 子育てにやさしい都市・住環境の整備	子育て世帯における誘導居住面積水準達成率(北九州市住生活基本計画(第2期)指標)	増加	36.7%(H30)	-	-			
		市民が感じる治安状況(体感治安)	増加	86.1%	86.8%	0.7 pnt			
	② 安全・安心を実感できる防犯・防災のまちづくり	刑法犯認知件数	減少	6,127件	6,044件	83件減			
		子どもと外出時に安心と感じる割合	増加	45.2%	47.2%	2.0 pnt			
		交通事故発生件数(暦年)	減少	5,542件	3,910件	1632件減			